


(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書 (総括)

会 派 名	公明党
会派の代表者名	秩父博樹 
視察(調査)期日	平成30年12月18日～平成30年12月20日
視察(調査)先	野島スコーラ 徳島市役所、被災者支援全国サポートセンター
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	<p>【廃校を活用した6次産業化について】(野島スコーラ) アンケート調査の結果、更なる学校統合を視野に入れた検討が進められている当市において、統合後の空き校舎の有効活用を模索する必要がある。6次産業化及び複合観光施設として有効活用している先進事例の現場を視察し、説明をいただき、今後の大仙市の取り組みの参考としたい。</p> <p>【観光振興施策の取り組み内容について】(徳島市役所) 東京五輪・パラリンピックが開催される2020年に、4000万人の訪日外国人をめざしている“観光立国・日本”だが、地方においても、今後の増加が期待される訪日外国人をいかに呼び込めるかが、地域経済振興の大きなカギを握っている。そのような状況の中、近年、四国に来訪した外国人数は、13年の約25万1000人から、17年には80万人に迫る勢いで大幅に伸び始めている。また、延べ宿泊者数も、伸び率は全国平均の3倍以上になると伺ったが、徳島市で行っている観光施策の組み合わせ方、ターゲットへのアプローチの手法、観光に関する各団体との関わり方、また、訪日客の急増による課題等についてご教示いただき、大仙市の観光振興施策の取り組みの参考としたい。</p> <p>【被災者支援システムの活用について】(西宮情報センター) 本年3月、当市に被災者支援システムが導入された。当市で発生する可能性のある震度7以上の直下型地震(横手盆地真昼山地連動型)に備え、いつでも使える状態にしておく必要があることから、このシステムを防災訓練等で活用している事例についてご教示いただき、非常時の当市の体制を強化したい。</p>

視察(調査)の行程	18日・秋田空港～伊丹空港～野島スコーラ(14:00～15:30)徳島市泊 19日・徳島市役所(13:30～15:00)～神戸市泊 20日・被災者支援全国サポートセンター(9:30～11:30)伊丹空港～秋田空港
視察(調査)への参加議員名	秩父博樹、挽野利恵
視察(調査)概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校を利用した6次産業化の取り組みについて (株式会社パソナふるさとインキュベーション) ・ 観光振興の取り組み内容について(徳島市役所) ・ 被災者支援システムの活用について (被災者支援全国サポートセンター)
視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について	<p>【廃校を利用した6次産業化の取り組みについて】 学校統合において廃校となった校舎については、利活用の意思のある民間企業に無償譲渡とする形がベターであると感じた。市外の企業であっても、譲渡により校舎が企業の財産となることで、地域に根付いてもらうことができ、また、固定資産税が入ることからも、学校統合における空き校舎については、可能な限り民間企業に無償譲渡する考え方を基本としたい。</p> <p>【観光振興施策の取り組み内容について】 大仙市には「阿波おどり会館」のように、お土産品を網羅した広い販売スペースが無い。観光(はなび・アム)と買物(お土産)は、組み合わせて考えることで相乗効果があり、地域経済が潤うことから、大仙市観光物産協会が「はなび・アム」の近傍に広い販売スペースを確保する必要があると考える。</p> <p>【被災者支援システムの活用について】 本年3月、当市に導入された被災者支援システムは改良が積み重ねられ、地方公共団体が救済・復旧業務を遂行する上で必要な機能をすべて搭載していた。吉田センター長の説明は、阪神・淡路大震災の被災者として、また、多くの被災者の支援に心を砕いてきた支援者としての実感がこもっており、当市の防災に対する意識レベルを更に上げるため、ぜひ当市での講演を実現したい。また、当市でも総務省の地域活性化アドバイザー制度を活用し、被災者支援システムの活用について、職員のスキルアップを進めるべきと考える。縦割り行政を打破し、全庁横断的取り組みとしたい。</p>

<p>そ の 他</p> <p>(会派としての総括的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>上記の事項について、執行部との協議及び意見交換を進めていきたい。</p>
--	---

平成30年度 大仙市議会会派 大地の会、公明党 行政視察 行程表

平成30年12月18日(火) = 第1日目

秋田空港 → JAL2172 → 伊丹空港 → 野島スコーラ視察 → ホテル (徳島市内)
 9:50 11:20 12:30 14:00 15:00
 「廃校を利用した6次産業化の取り組みについて」
 野島スコーラ 酒井様
 TEL0799-82-1820

平成30年12月19日(水) = 第2日目


ホテル → ジャンボタクシー → 徳島城博物館 → 市内見学 → 昼食 (未定) → ホテル (神戸市内)
 8:30 9:00 10:20 12:00 13:00
 「観光振興の取り組み内容について」
 徳島市議会議務局 アベ様
 TEL088-621-5115 (直通)

平成30年12月20日(水) = 第3日目

ホテル → ジャンボタクシー → 西宮情報センター視察 → 市内見学 → 伊丹空港 → 秋田空港
 9:00 9:30 11:30 11:50 12:50 15:30 16:15 17:35
 「被災者支援システムの活用について」
 西宮市議会議務局 総務課 戴崎(ヤブサキ)さん
 TEL0798-35-3376 (直通) ※当日は、現地、センター長が対応 (TEL0798-32-8877)

(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書 (総括)

会 派 名	公明党
会派の代表者名	秩父博樹 
視察(調査)期日	平成31年3月26日～平成31年3月28日
視 察 (調 査) 先	新潟市役所、熊谷市役所、飯能市役所
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	<p>【ICT活用農業(水田管理)について】(新潟市役所) 農業を基幹産業としている大仙市だが、農業従事者の高齢化が進んでいる現状を鑑み、将来的な農業のICTを活用した水田管理の効率化等、スマート農業を取り入れた農業の将来像について模索していく必要がある。新潟市の革新的農業実践特区におけるスマート農業の取り組みについてご教示をいただき、今後の大仙市の取り組みの参考としたい。</p> <p>【受動喫煙対策について】(熊谷市役所) 健康寿命日本一を目指し、様々な取り組み(受動喫煙対策等)をスタートしている秋田県だが、大仙市における受動喫煙対策はまだまだ進んでいない状況で、これから本腰を入れて推進していく必要がある。受動喫煙対策として小学4年生の受動喫煙検診事業を10年以上継続している熊谷市の取り組みについてご教示いただき、今後の受動喫煙対策の取り組みの参考としたい。</p> <p>【議会改革・議会のICT化について】(飯能市役所) これまで、一般質問や議会運営委員会等でも議会のICT化(タブレット端末の導入)について取り上げてきたが、残念ながら未だ導入には至っていない。使用する紙の量の削減や、紙の例規集の入れ替えを無くしたこと、メールによる通知での職員負担の軽減等、経費削減及び業務効率化の効果についてご教示いただき、大仙市の議会改革・議会のICT化(タブレット端末の導入)について、建設的な議論を前に進めたい。</p>

視察(調査)の行程	26日・大曲駅～新潟駅～新潟市役所(13:20～15:00)新潟市泊 27日・新潟駅～熊谷駅～熊谷市役所(13:15～15:00)～熊谷市泊 28日・熊谷市～飯能市役所(10:00～11:30)～川越駅～大曲駅
視察(調査)への参加議員名	秩父博樹、挽野利恵
視察(調査)概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT活用農業(水田管理)について(新潟市役所) ・ 受動喫煙対策(小学4年生の受動喫煙検診事業)について(熊谷市役所) ・ 議会改革・議会のICT化について(飯能市役所)
視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について	<p>【ICT活用農業(水田管理)について】 ドローンによる水稻の薬剤散布での作業時間の短縮や、可変施肥田植機での稲の育成の平準化等、ビッグデータの蓄積・活用によるスマート農業の取り組みは、今後更に加速していくと考える。農地集約・基盤整備が進められている当市においては、まずは「朝の水田管理が飛躍的に楽になった」という水田センサーの活用から検討を進めたい。</p> <p>【受動喫煙対策(小学4年生の受動喫煙検診事業)について】 平成19年度から実施されているこの事業は、当初7割程の検診率だったが、現在は9割近い検診率となっており、追跡調査によると同居者のその後の煙草の吸い方が変わっていることから、煙草の有害性に対する意識改革に繋がっている事業であると感じた。当市における今後の受動喫煙防止対策の参考としたい。</p> <p>【議会改革・議会のICT化について】 タブレット導入による費用削減効果として年間約210万円。紙使用量削減枚数は年間約10万枚。その他の導入効果としても、環境負担の低減、経費削減、事務の効率化、情報伝達の迅速化、政務調査活動の充実、危機管理対応の向上等、多数の効果が上がっていたことから、当市の議会改革・議会のICT化、タブレット端末の導入について再度提言し、建設的な議論を進めたい。</p>
その他(会派としての総括的意見、上記成果への今後の取り組み等)	上記の事項について、協議及び意見交換を進めていきたい。